

審議会等議事概要

平成29年度 第1回 第三者苦情等処理会議 議事概要

日 時	平成30年 3月5日（月曜日）午後1時30分～午後2時10分
開催場所	滝川市役所4階 401会議室
出席者	齊藤 秀希委員、細川 雅代委員、松橋 博子委員、山本 繁委員、 竹谷 冷子委員、岸 さち子委員、青木 慎一委員 事務局等：米澤子育て応援課主幹、内田同副主幹、小山こども福祉係長、 細矢二の坂保育所長、小関保育主任、佐藤保育主任
議 事	1. 開 会 2. 挨拶 子育て応援課長欠席のため、子育て応援課主幹より、よろしくお願いしたい旨の挨拶があった。 3. 議 事 （1）保育所現況報告について 事務局： 保育所の現況について、次の通り説明を行った。 ① 滝川中央保育所の現況 平成29年4月1日の入所児童数は85名であり、3月1日現在で103名の在所となっている。今後、進級お祝い会や卒園の入学お祝い会を予定している。平成30年4月1日の入所予定数は、81名となっている。 事故報告について、資料1に基づき説明した。 ② 東栄保育所の現況 平成29年4月1日の入所児童数は6名で、3月1日現在の入所児童数は7名となっている。平成30年4月1日の入所予定数は3名となるため、休止する予定である。この3名については希望を伺い、2名は滝川中央保育所に、1名は一の坂保育所に転所する予定である。 事故報告はない。 ③ 二の坂保育所の現況 平成29年4月1日の入所児童数は87名で、3月1日現在は102名の在 所となっている。平成30年4月1日の入所予定児童数は、84名である。 事故報告について、資料2に基づき説明した。 委 員：二の坂保育所での事故報告6番目の誤食について、チェック体制はどのよう になっていたのか。 事務局：給食調理員が確認しながら用意し、保育士が給食調理員から受け取る時に確 認して、児童に配膳しているが、給食調理員が用意する段階で、その児童のお盆 に牛乳が置かれており、受け取った保育士も確認していなかった。児童についた

保育士は牛乳を与える練習が始まったととらえてしまっていた。アレルギー除去食提供の決まりがあるが、徹底されていなかった。

委員：どのように改善したか。

事務局：決まりを徹底するとともに、給食調理員がまず確認し、保育士がお盆を受け取るときに保育士と給食調理員で声を掛け合って確認、子どもに配膳するときには別な保育士とお盆の上の札を読み合って確認することにした。

委員：滝川中央保育所の事故報告５番目の割れた小皿でのケガについて、保育所では割れるような食器を使用しているのか。

事務局：磁器の食器だが、割れにくい強化磁器のものを使用している。比較的強い材質であるが、強い衝撃を与えると割れてしまう場合がある。食べる側にとっても普通の茶碗に近いものを考え使用している。

委員：学校でも割れるものは使用していない。

事務局：いろいろな材質のものがあるが、栄養士とも相談して今の食器を使用している。

委員：滝川中央保育所の事故報告６番目について、寝返りをして手を痛がってから肘内障に気が付いたということか。

事務局：寝返りした時に手が下になり肘の関節が外れたと思われる。外れやすいこともちょっとしたことで外れてしまう。服を脱がしても外れる子どももいる。肘内障になると通常は腕を動かせないが、この児童は何度か繰り返しており、医師の診断でわずかに骨がずれるくらいだったため腕が動かせたと思われる。癖になっている場合は、防ぐことは難しい。

委員：二の坂保育所での事故報告１番目の歯の亜脱臼とは、どのような状態か。

事務局：歯がグラグラではなく、ゆらゆらして少し動くような状態で、今回の場合、レントゲンを撮っても何でもなかったが、１か月後に受診し問題はないことを確認している。

（２）苦情受付状況と解決結果の報告について

事務局：

二コニコ箱への投函はなかったが、提言メールや電話で苦情等の通報があり、次の通り説明を行った。

事務局：

- ① 滝川中央保育所
資料１に基づき説明した。
- ② 東栄保育所
苦情等はない。
- ③ 二の坂保育所
資料２に基づき説明した。

委員：滝川中央保育所の２件目について、保育士の保育態度の事実確認をしたとのことだが、実際はどうだったか。

	事務局：通告の通りと本人も認めた。その保育士だけの問題ではなく、周りにいる保育士が聞いていて、常態として行われているとすれば、決して好ましい保育ではないため、改めて子どもへの声のかけ方一つ一つが保育の現場への信頼につながっていくこととして、保育指針を基にした冊子を渡して読んできてもらって、会議の中で乳児保育の在り方について考え、全体として良くなっていくように取り組んだところである。 委員：具体的に氏名を指摘されるような内容の苦情だと感じるが、どうなのか。 事務局：朝の忙しい時間帯におむつ交換をしていた時に、そばにいた乳児にじゃまだよという言い方が強い口調だったらしく、その場にいた他の保護者が、自分の子どもが保育所でこのように言われるとしたら悲しい、家で自分の子どもに言うような口調ではなく、保育士だったらもっとやさしい言い方をすると思っていたが、家で言うような口調で言っていたことを聞き、いかがなのかという通報だった。 (3) 委員が受けた苦情について 委員が受けた苦情はないことを確認した。 4. 次回第三者苦情等処理会議の開催時期について 事務局：次のとおり説明を行った。 ・苦情があった場合は、随時開催をするが、なければ年度の終わりに保育所の現況も併せて報告する形で開催したい。 ・東栄保育所の休所について説明したが、東栄保育所担当の委員については、保育所の保護者からの苦情はなくなるが、引き続き公立保育所に対するご意見等をいただきたい。 5. その他 特になし。 6. 閉 会
会議資料	資料 1 平成 29 年度 滝川中央保育所苦情受付状況・事故発生状況 資料 2 平成 29 年度 二の坂保育所苦情受付状況・事故発生状況 資料 3 滝川市保育所における苦情等処理要綱